

第4学年 社会科学習指導案

1 小単元名 「豊かな自然環境を守り生かす小笠原村」(10 時間)

2 小単元の目標

豊かな自然環境を守り生かしている小笠原村について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめることを通して、小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、小笠原村の様子を理解している。 ②調べたことをガイドマップなどにまとめ、小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、小笠原村の様子について考え、表現している。 ②小笠原村の位置や自然環境、小笠原村の人々の活動や産業と小笠原村の発展を関連付けたり、自分たちの住んでいる地域と比較したりして、小笠原村の特色を考え、適切に表現している。	①小笠原村の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 小単元について

(1) 学習指導要領上の位置付け

本小単元は、学習指導要領の第4学年の内容(5)に基づいて設定する。

(5)県内の特色ある地域の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(ア) 県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解すること。

ア(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

イ(ア) 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。

(内容の取扱い) ア 県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組んでいる地域及び地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。その際、地域の資源を保護・活用している地域については、自然環境、伝統的な文化のいずれかを選択して取り上げること。

(2) 教材について

小笠原村は、平成23年6月に東京都で初めて世界自然遺産に登録された。小笠原村では、特色ある豊かな自然を活用して漁業や農業が営まれている。また、組織的・協力的に自然保護を第一義にしながらエコツーリズムの考えて観光業の発展に取り組んでいる。動植物の独自の生態系が広がっており、固有種を守るための外来種対策にも取り組み、豊かな自然を守る取組を進めている。このような小笠原村の豊かな自然や島民の日々の営みに触れていくことで、SDGs(目標の11、14、15)にも繋がるような学習ができるのではないかと考える。

10月に出勤授業で八丈島の自然や産業を教わったり、漁業組合の方々から実際にトビウオなどの魚をさばく場面を見せてもらったりした。同じ東京都でも、自然環境の違いや観光などの産業の発展に努めていることを実感し、八丈島の特色を身近に感じる事ができた。それらの学習経験も想起(カリキュラム・マネジメント)しながら学習を進めることで、本小単元の学習もより主体的に追究・解決していくことできるのではないかと考える。既習である台東区の特色と比較しながら、小笠原村の特色を考えられるようにしていきたい。

5 単元構想

【本小単元につながる児童の学習経験】
 10月に遠足であるきる野市を訪れ、東京都西部の豊かな自然環境や伝統工芸品である軍道和紙作り体験をした。東京都内にもそれぞれ地域によって特色があり、その特色を生かした産業を行っていることを実感した。また、10月に出前授業で八丈島の自然や産業を教わったり、漁業組合方々から実際にトビウオなどの魚をさばく場面を見せてもらったりした。同じ東京都でも、自然環境の違いや観光などの産業の発展に努めていることを知り、八丈島の特色を身近に感じることができた。

【研究内容1】
 主体的に問いを追究する工夫

- 【問題意識を高める工夫】**
 ・「小笠原は一度も陸続きになったことがなく、固有種が存在する。世界自然遺産に登録された。」という事実から学習問題を設定する。
- 【学習意欲を高める工夫】**
 ・小笠原村の小学生に質問したり、作成したガイドブックを見てもらう交流学习の時間を設けたりして、学習意欲を高められるようにする。
- 【見通しをもつ工夫】**
 ・学習のゴールにガイドマップを作ることを示し、見通しをもって学習できるようにする。
- 【内容や方法を選択できる工夫】**
 ・海、陸の観光業を調べる際には、2～3種類の資料を用意し、児童が自分で調べたいことを選べるようにする。
- 【協働的に取り組む工夫】**
 ・作ったガイドマップを読み合うことを知らせ、相手意識をもちながら取り組めるようにする。
- 【学びを振り返る工夫】**
 ・振り返りカードを活用して、自分の学び方について毎時間振り返ることで、自分の学習の成果を確認したり、新たな学習への意欲を高めたりできるようにする。

子供の主体的な問題解決の側面から

過程	想定される「問い」	子供に働かせたい見方・考え方
つかむ	<学習問題をつかむ問い> 小笠原村はどんなところだろう。	位置、気候、人口に着目して 独自の自然保護の取組に着目して
	<学習問題をつかむ問い> なぜ小笠原村では、このような自然保護の取組をしているのだろう。	独自の自然保護の取組に着目して
学習問題	小笠原村の人々は、豊かな自然の中でどのように	
しらべる	<しらべる問い> 小笠原村では、豊かな海の自然を生かし守るためにどのようなことをしているのだろう。	活用と保護の両面の取組に着目して
	<しらべる問い> 小笠原村では、豊かな陸の自然を生かして守るためにどのようなことをしているのだろう。	海と陸の取組の共通点に着目して
	<しらべる問い> 小笠原村では、豊かな自然をどのように生かした仕事をしているのだろう。	人々の工夫に着目して
	<しらべる問い> 小笠原村の人々は、自然とどのように向き合ってまちづくりをしているのだろう。	都や国の協力に着目して
まとめる	<特色や意味を考える問い> 小笠原村の人々のまちづくりには、どのような特色があるのだろう。	自分たちの生活と関連付けて考えて

【研究内容3】子供の学びを確かにする評価の工夫

子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価
 振り返りカードに、もっと調べたいことを記入して学び方について振り返りを行う。問題解決的な学習の進め方を自覚し、振り返りを生かして、次の段階への見通しをもち学習をすすめる。

小単元で目指す児童像

- 小笠原村の人々が、その自然や特色を生かした産業を行っていること、また、自然環境を活用するだけでなく保護することも大切にして、みんなで協力してまちづくりをしていることを理解している子供。
- 小笠原村の人々の活動や産業と小笠原村の発展を関連付けたり、自分たちの住んでいる地域と比較したりして、小笠原村の位置や自然環境、小笠原村の特色を考え、適切に表現している子供。
- 台東区と小笠原村のそれぞれの特色を理解し、東京都の一員として自分の住む東京都を誇りに思う子供。

社会生活の確かな理解の側面から

見方・考え方を働かせる資料	子供が獲得できるようにしたい知識
・地図帳、平均気温、面積、人口、船の時刻表、観光客数	平均気温が年間通して高く、暖かく、東京から約1000キロメートル離れていて、台東区よりも面積は広いが、人口はかなり少ない島。世界自然遺産に登録されてから、観光客が増えた。
・固有種 ・自然を守る取組の写真	一度も陸続きになったことがなく、固有種がたくさんいる島。独自の自然を守る取組をしている。

まちづくりをしているのだろう。

・パンフレット ・小笠原ルールブック ・SDGs	小笠原村では、ドルフィンスイムやダイビングなど豊かな海の自然を生かした観光業を行い、そして、ルールを作って海の自然を守りながらまちづくりをしている。
・パンフレット ・小笠原ルールブック ・SDGs	小笠原村では、山歩きやナイトツアーなど豊かな陸の自然を生かした観光業を行い、そしてルールを作って陸の自然を守っている。海と陸のどちらも同じで、自然を生かし、守っている。
・漁獲量 ・農協や漁協の人の話 ・環境教育	小笠原村では、観光業の他にも、豊かな海の自然を生かした漁業と、暖かい気候を生かした農業が行われている。
・都レンジャー ・外来種駆除ボランティア ・小笠原ルールブック	小笠原村では、エコツーリズムや都レンジャーなどの自然保護のための取組をしている。みんなで協力しながら、自然を守り、生かしたまちづくりをしている。
・ノート	小笠原村は、豊かな海と陸の自然を保護・活用しながら、ドルフィンスイムや森ツアー、ナイトツアーなどの観光業を中心としたまちづくりをしている。豊かな自然を生かして魚をとったり農作物を育てたりしている。みんなで協力しながら、様々な自然保護のための取組をして、自然を守り、生かしたまちづくりをしている。

【研究内容2】

社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

【位置や空間的な広がりから見る】

- ・小笠原村の位置を地図帳を活用して調べ、船で24時間かかることや東京都から九州までと同じ距離だということを理解できるようにする。
- ・台東区と小笠原村の面積と人口や小笠原村全体の地図を示すことで、小笠原村の様子がわかるようにする。

【時期や時間の経過から見る】

- ・世界自然遺産に登録されてから、観光客が増えたことをグラフから読みとれるようにする。
- ・SDGsに触れながら小笠原村の自然保護の取組を調べることで、現在のことだけでなくこれからの小笠原村のまちづくりも意識させる。

【事象や人々の相互関係から見る】

- ・台東区と小笠原村の年間平均気温のグラフから、小笠原村が年間通して温かい気候であることが分かるようにする。
- ・豊かな自然環境の中で暮らしたいという島民の思いや願いと、自然環境が保たれているということに目を向けられるようにする。

【比較・分類・関連・総合して考える】

- ・自分たちの暮らす台東区と比較し、それぞれの特色を考えられるようにする。
- ・小笠原村の海と陸をどのように生かしているのかを表でまとめ、比較し、総合することで、特色を考えられるようにする。

指導と評価の一体化を図る（教師が指導に生かす）評価

- ・振り返りで見取った主体的に取り組む態度の評価を次の学習の支援に生かしていく。

6 小単元の指導計画 (全 10 時間)

過程	ねらい (数字・時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される子供の反応 (・)	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	小笠原村に興味・関心をもち、位置や気候などを調べ、小笠原村の概要を理解する。①	<p>○小笠原村観光 PR 動画を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海がすごくきれい。魚もたくさんいる。 ・前に学習した八丈島かな。自然豊かな所が似ているよ。 <p>○小笠原村であることを知り、地図帳で小笠原村の位置を調べ、次に知りたいことを出し合う。</p> <p>◆小笠原村はどんなところだろう。</p> <p>○小笠原村の気候、交通手段、面積、人口、観光客を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均気温が高く、暖かい気候。 ・東京から約 1000 km 離れていて、船で 24 時間かかる。 ・台東区的面積の 10 倍だけど、人口は台東区よりもずっと少ない。 ・観光客は、平成 22 年から 24 年に増えている。世界自然遺産に登録された。 <p>○小笠原村の小学生に聞きたいことを考える。</p>	<p>◎小笠原村観光 PR (動画) ◎地図帳</p> <p>□場所決めておき、どこだと思ふか児童に予想させる。</p> <p>◎おがさわら丸の時刻表 (図)</p> <p>◎台東区と小笠原村の平均気温 (グラフ)</p> <p>◎台東区と小笠原村の面積と人口 (表)</p> <p>◎小笠原村の観光客数 (グラフ)</p> <p>□自分の地域と比較して小笠原村のことを捉えられるようにする。</p> <p>【知①】発言や記述から「小笠原村の位置や自然環境について、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、小笠原村の様子を理解しているか」を評価する。</p> <p>□小笠原村の小学生に質問をする時間を別に設定する。質問をする中で気候の事などを実感し、今後の学習への興味を高められるようにする。</p>
	小笠原村の固有種について調べ、現在行われている自然保護の取組を調べ、学習問題をつくる。②	<p>○小笠原村の固有種について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小笠原村は一度も陸続きになったことのない島なので、ここにしかいない珍しい生き物がたくさんいる。 ・固有種が多く存在しているから世界自然遺産となった。 <p>○現在行われている小笠原村の自然保護の取組を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母島では、下船するときに泥を落とす。 ・飼猫にはマイクロチップを付けないといけない。 ・南島には、11 月から 2 月まで入ってはいけない。 <p>◆なぜ小笠原村はこのような自然保護の取組をしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固有種を守っていくためかな。 ・観光客が増えたのは、小笠原村の人にとっては嬉しいことかな。困っていることがあるのかもしれない。 ・細かくルールを決めていそうだね。 	<p>◎小笠原村の固有種 (画像・写真)</p> <p>◎固有種の割合 (表)</p> <p>◎下船をするときに泥を落とすマット</p> <p>◎外来種駆除装置 (写真)</p> <p>□小笠原村はただ自然環境が豊かな地域でなく独自の自然保護の取組をしていることをおさえ、なぜそのような取組をしているのか疑問をもち、学習問題をつくれるようにする。</p> <p>【思①】発言や記述から「小笠原村の自然環境や人々の活動などに着目して学習問題をつくっているか」を評価する。</p>
	小笠原村の人々は、豊かな自然の中で、どのようにまちづくりをしているのだろう。		
	学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てる。③	<p>○学習問題に対する予想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海や陸の自然を生かしたまちづくりをしていると思う。 ・固有種の存在を大切にして、自然を守りながらまちづくりをしていると思う。 <p>○予想を確かめるための学習計画を立てる。</p> <p>第 4 時：海の自然を生かし守るための取組 第 5 時：陸の自然を生かし守るための取組 第 6 時：自然を生かした仕事 第 7 時：自然保護活動を広げる取組</p>	<p>□既習を活用して予想させ、予想を確かめるための学習計画を立てられるようにする。</p> <p>【態①】発言や記述から「小笠原村について、学習問題に対する予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
調べる	小笠原村の海の自然を生かした取組について調べ、小笠原村は、海の自然を保護・活用した取組や産業をしていることを理解する。④ (本時 4-1)	<p>◆小笠原村では、豊かな海の自然を生かし守るためにどのようなことをしているのだろう。</p> <p>○小笠原村の海の自然を生かした観光業を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイビング、ドルフィンスイムなどの豊かな海の自然を生かして観光業をしている。 <p>○調べたことを紹介し合う。</p> <p>○小笠原村の豊かな海の自然を守っていくために、どのようなルールがあるか予想し、確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚に近づきすぎるといけない。 ・サンゴ礁を壊してはいけない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>小笠原村では、ドルフィンスイムやダイビングなど豊かな海の自然を生かした観光業を行い、そして、ルールを作って海の自然を守りながらまちづくりをしている。</p> </div>	<p>◎「世界自然遺産」小笠原村のパフレット)</p> <p>◎ドルフィンスイム、ダイビング、海水浴&シュノーケリング、ウミガメのことがわかる資料</p> <p>◎小笠原ルールブック</p> <p>□SDGs (目標 11、14) と関連させながら取組の様子を捉えられるようにする。(以下、関連項目のみ表示。)</p> <p>□活用するだけでなく、保護していることもおさえられるようにする。</p> <p>【知①】発言や記述から「各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然を保護活用した取組や産業をしていることを理解しているか」を評価する。</p>

	<p>小笠原村の陸の自然を生かした取組について調べ、小笠原村は、陸の自然を保護・活用した取組や産業をしていることを理解する。⑤ (本時4-2)</p>	<p>◆小笠原村では、豊かな陸の自然を生かし守るためにどのようなことをしているのだろう。</p> <p>○小笠原村の陸の自然を生かした観光業を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山歩き、ナイトツアーなどの豊かな山の自然を生かして観光業をしている。 ・固有種が見られるので人気。 <p>○調べたことを紹介し合う。</p> <p>○小笠原村の豊かな陸の自然を守っていくために、どのようなルールがあるか予想し、確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動植物は採らない、持ち込まない、持ち帰らない。 <p>○海と陸のことをまとめた表からどのようなことがいえるか考える。・どちらも自然を守りながら観光業をしている。</p> <p>小笠原村では、山歩きやナイトツアーなど豊かな陸の自然を生かした観光業を行い、そしてルールを作って陸の自然を守っている。海と陸のどちらも同じで、自然を生かし、守っている。</p>	<p>◎「世界自然遺産」内の森、山歩き、ナイトツアー（小笠原村のパンフレット）</p> <p>◎森歩き、ナイトツアーの資料</p> <p>◎小笠原ルールブック</p> <p>□SDGs（目標11、15）</p> <p>□活用するだけでなく、保護していることもおさえられるようにする。</p> <p>【知①】発言や記述から「各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然を保護・活用した取組や産業をしていることを理解しているか」を評価する。</p>
調 べ る	<p>小笠原村の自然や気候を生かした産業について理解する。⑥</p>	<p>◆小笠原村では、豊かな自然をどのように生かした仕事をしているのだろう。</p> <p>○小笠原村の自然を生かした漁業や農業を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の深いところを狙ってメカジキやメバチマグロなど大きな魚を取っている。 ・一年中暖かい気候を利用して、夏野菜を冬から春にかけて作っている。 <p>○調べたことを紹介し合う。</p> <p>小笠原村では、観光業の他にも、豊かな海の自然を生かした漁業と、暖かい気候を生かした農業が行われている。</p>	<p>◎漁協 高瀬さんの話</p> <p>◎主な漁獲量（グラフ）</p> <p>◎農協 柴田さんの話</p> <p>□離島のため、魚をすぐに消費地に遅れず、運搬費が高くなることから、できるだけ高く売れる魚を獲るための努力をしていることをつかませる。</p> <p>□SDGs（11）</p> <p>【知①】発言や記述から「各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然を保護活用したまちづくりをしていることを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>小笠原村の自然保護活動を広げる取組を調べ、自然を保護・活用したまちづくりをしていることを理解する。⑦</p>	<p>◆小笠原村の人々は、自然とどのように向き合ってまちづくりをしているのだろう。</p> <p>○小笠原村でエコツーリズムが行われている理由を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客にも、小笠原村の自然を守ってもらいたいから。 <p>○小笠原村の人々が、自然保護のために他に取り組んでいることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来植物駆除のボランティア ・都レンジャー <p>○小笠原村の人々の自然に対する思いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界自然遺産に登録される前から、自主ルールを作るなどして、ずっと自然を守るようになってきた。 ・島内の子供達だけでなく、島外の観光客にも小笠原村の自然の大切さを伝えていこうとしている。 <p>小笠原村では、エコツーリズムや都レンジャーなどの自然保護のための取組をしている。みんなで協力しながら、自然を守り、生かしたまちづくりをしている。</p>	<p>◎小笠原ルールブック（写真）</p> <p>◎小笠原村の副村長 渋谷さんの話（文章）</p> <p>◎小学校の環境教育（写真）</p> <p>◎外来種駆除ボランティア（写真）</p> <p>□村だけでなく、都や国と協力していることもおさえる</p> <p>□SDGs（目標4、11、14、15）</p> <p>◎世界自然遺産と空港の建設（文章）</p> <p>【知①】発言や記述から「各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然を保護・活用したまちづくりをしていることを理解しているか」を評価する。</p>
ま と め る	<p>調べたことをガイドマップにまとめ、学習問題に対する自分の考えを表現する。⑧⑨⑩</p>	<p>○調べたことをガイドマップにまとめる。</p> <p>○小笠原村の小学生に自分たちが作ったガイドブックを見てもらったり、学習した中で疑問に思ったことを質問したりする。</p> <p>◆小笠原村の人々のまちづくりには、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>小笠原村は、豊かな海と陸の自然を保護・活用しながら、ドルフィンスイムや森ツアー、ナイトツアーなどの観光業を中心としたまちづくりをしている。豊かな自然を生かして魚をとったり農作物を育てたりしている。みんなで協力しながら、様々な自然保護のための取組をして、自然を守り、生かしたまちづくりをしている。</p>	<p>◎ノート</p> <p>□ガイドマップには小笠原村の観光を生かしたまちづくりをPRすることができるように内容を選択できるようにする。</p> <p>□小笠原村の小学生に自分たちが作ったガイドブックを見せて感想を聞く機会を設けることで達成感をもてるようにしたり、さらに疑問に思ったことを聞けるようにしたりする。</p> <p>【思②】発言やガイドマップの記述から「小笠原の人々の活動や産業と関連付けたり、自分たちの住んでいる地域と比較したりして、小笠原の位置や自然環境、小笠原の特色を考え、適切に表現しているか」を評価する。</p> <p>【知②】発言や記述から「小笠原では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解しているか」を評価する。</p>

(1) 本時のねらい

小笠原村の海の自然を生かした取組について調べ、小笠原村は、海の自然を保護活用した取組や産業をしていることを理解する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	○小笠原村の海の写真や映像を見る。	◎小笠原の海の写真 ◎観光船が到着する映像
	本時の問い：小笠原村では、豊かな海の自然を生かして、どのようなことをしているのだろう。	
しる	○問いに対する予想を立てる。 ・クジラを見るツアーなどがあると思う。 ・海を大切にしていると思う。	□写真や映像から予想を立てられるようにする。
	○小笠原村の海の自然を生かした観光業の資料を選び、調べる。 ・ダイビング イソマグロやカンパチ、マンタなどの大物が見られる。 目を覆うほどの魚の群れ、色とりどりの熱帯魚が見られる。 インストラクターが丁寧に教えてくれる。 ・ドルフィンスイム、 野生のイルカは機嫌がいいと 30 分くらい泳いで遊べる。 野生のイルカと泳げるのは日本で 4 つの場所だけ。 ・ウミガメにも会えるんだね。 海洋センターでは、ウミガメを卵から育てている。 卵を産んだ母亀に目印をつけている。 ○調べたことを全体で紹介し合う。 ○これからも小笠原村独自の豊かな海の自然を守るためにどんなルールがあるのか考え発表する。 ・魚に近づきすぎてはいけない。 ○実際のルールブックと比べる。 ・1 つのイルカのむれと遊べるのは 4 つの船まで ・サンゴ礁をこわさない。 ・ウミガメを発見したら、海洋センターに知らせる。 ・本当にルールを作るだけでいいのかな。	◎ダイビング、ドルフィンスイム、ウミガメのことをまとめた資料 ◎小笠原村のパンフレット □3 種類の資料の中から、自分で調べたいものを選び、手元で見られるようにする。 □活用するだけでなく、保護していることもおさえられるようにする。 □どんなルールを作っているか児童に想像させる。 □海、陸と比較しやすいように表にまとめて掲示する。 ◎小笠原ルールブック □小笠原ルールブックが自主ルールを含むものであることや、世界自然遺産になる前から設定されているもの、貴重な自然を守り後世に伝えていくためのルールであることをおさえる。 □SDGs (目標 11、14) の文言を紹介し、関連させながら取組の様子を捉えられるようにする。
まとめる	○学習したことを自分の言葉でまとめ、発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小笠原村では、ドルフィンスイムやダイビングなど豊かな海の自然を生かした観光業を行い、そしてルールを作って海の自然を守りながらまちづくりをしている。</div> ○学習の振り返りをする。	□活用と保護の両面を網羅できるようにする。 【知①】発言や記述から「各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然を保護・活用した取組や産業をしていることを理解しているか」を評価する。

<板書>

別紙にて

(1) 本時のねらい

小笠原村の陸の自然を生かした取組について調べ、小笠原村は、陸の自然を保護・活用した取組や産業をしていることを理解する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	○小笠原村の陸の写真を見る。	◎小笠原の陸の写真 ◎マットで泥を落としている写真
	本時の問い：小笠原村では、豊かな陸の自然を生かして、どのようなことをしているのだろう。	
	○問いに対する予想を立てる。 ・海みたくに、観光客に向けたレジャーがありそう。 ・山を大切にしながら観光業をしていると思う。	□前時の海の学習を生かして、予想を立てられるよう声をかける。
しる	○小笠原村の陸の自然を生かした観光業の資料を選び、調べる。 ・ナイトツアー 光るきのこ（グリーンペペ）が見られる。星空も綺麗。 ・森ツアー 固有種が見られることがある。 森に入る前にマットで靴の汚れを落とす。 ○調べたことを全体で紹介し合う。 ○これからも小笠原村独自の豊かな陸の自然を守るためにどんなルールがあるのか考え発表する。 ・山歩きの時も、勝手に植物をとってはいけない。 ○実際にルールと比べる。 ・動植物は採らない、持ち込まない、持ち帰らない。 ・森は決まった道を歩く。ルートが決まっている。 ○海と陸のことをまとめた表をみてどんなことが言えるか考える。 ・海も陸も豊かさを生かすだけでなく、ちゃんとルールを作って、自然を大切にしている。 ・小笠原村の人は観光客に本当に来てほしいか。	◎ナイトツアー、森ツアーのことをまとめた資料 ◎小笠原村のパンフレット □2種類の資料の中から、自分で調べたいものを選び、自分で見られるようにする。 □どんなルールを作っているか児童に考えさせる。 □活用するだけでなく、保護していることもおさえられるようにする。 ◎小笠原ルールブック □小笠原ルールブックが自主ルールを含むものであることや、世界自然遺産になる前から設定されているもの、貴重な自然を守り後世に伝えていくためのルールであることをおさえる。 □SDGs（目標11、15）の文言を紹介し、関連させながら取組の様子を捉えられるようにする。 □前時使用した表に、陸のこともまとめ、総合してどんなことがいえるか考えられるようにする。
使う	○学習したことを自分の言葉でまとめ、発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">小笠原村では、山歩きやナイトツアーなど豊かな陸の自然を生かした観光業を行い、そして、ルールを作って陸の自然を守りながらまちづくりをしている。海と陸どちらも同じで自然を生かし、守っている。</div> ○学習の振り返りをする。	□活用と保護の両面を網羅できるようにする。 【知①】発言や記述から「各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然を保護・活用した取組や産業をしていることを理解しているか」を評価する。

<板書>

別紙にて

<板書計画>

本時Ⅰ (4/10時)

小笠原村では、豊かな海の自然を生かし守るためにどのようなことをしているのだろう。




海の自然を生かす		海の自然を守る
ダイビング	イソマグロやカンパチ、マンタなどの大物が見られる。 目を覆うほどの魚の群れ、色とりどりの熱帯魚が見られる。 インストラクターが丁寧に教えてくれる。	① 1つのイルカの群れと遊べるのは、4つの船まで 
ドルフィンスイム	野生のイルカは機嫌がいいと30分くらい泳いで遊べる。 野生のイルカと泳げるのは日本で4つの場所だけ。	② さんごしょうなどをこわさない 
ウミガメ	海洋センターでは、ウミガメを卵から育てている。 卵を産んだ母亀に目印をつけている。	③ さんご礁等の特殊地形を壊さない



まとめ
○海の自然を生かした観光業をたくさん行っている。
○自然を守るためにルールを作っている。

本時Ⅱ (5/10時)

小笠原村では、豊かな陸の自然を生かし守るためにどのようなことをしているのだろう。

陸の自然を生かす		陸の自然を守る
ナイトツアー	光るきのこ(グリーンペペ)が見られる。星空も綺麗。	<p>① 持ち帰らない。 </p> <p>② ガードレールやさくをのりこえない。 </p> <p>③ アカガシラガラスバトが子供を産む時期は立ち入り禁止 </p>
森ツアー	固有種が見られることがある。森に入る前にマットで靴の汚れを落とす。	



海と陸を学習して言える事
○海も陸も観光業がさかんだが、生かすだけでなく、守る事にも力を入れている

まとめ
○陸の自然を生かした観光業をたくさん行っている。
○自然を守るためにルールを作っている。

<資料1>

小笠原村の小学生（母島小学校）2名とオンラインでつながる計画

①第1時のあと めあて

- ・オンラインでつながる中で、気候、人数、周りの町の様子の違いを実感する。質問する。
- ・小笠原村への興味関心を高め、最後にガイドマップを見てもらうという目的をもつ。

内容

- ・クラスの人数、全校児童の人数、先生の人数を紹介しあう。
 - ・学校までの交通手段（徒歩〇分、電車、バス）を紹介しあう。
 - ・国語、算数、体育でどんな学習をしているか紹介しあう。
 - ・休日の過ごし方を紹介しあう。
 - ・その他、児童から質問をする。

②第9時のあと

- ・作ったガイドマップを見てもらう。
- ・さらに、児童から質問する。

<資料2>

11月25日 小笠原観光局 根岸さんの話

○観光客は何を目当てに小笠原に来るのか。

- ・目的は、本当にそれぞれ。海、固有種、遺跡、戦跡、島民とのふれあい、世界遺産自体に行ってみたいなど。
- ・3、5人がリピーター。
- ・固有種で世界遺産になったが、固有種を求めてくる人はそんなに多くない。どちらかと言うと、地味な固有種よりもクジラ、イルカの方が断然人気がある。

○観光客が来ることは小笠原の人々にとってプラスか。

- ・いろんな議論があった。でも最終的には、プラス。という結論。
 - 一人でも多くの人に、実際に小笠原の自然に触れてもらい、その素晴らしさを実感してもらいたいし、エコリズムの中で自然への意識を高めてほしい。

○観光客による困った事例はあるか。

- ・どこにでもあることだと思うが、ポイ捨てなど一部のマナーの良くない人。
- ・一番はギャップ。沖縄のようなリゾートホテルで過ごすようなイメージで来る人がいる。実際は、ホテルはない。ペンションや民宿。そこでミスマッチが起こることがある。小笠原は全島国立公園だから、リゾート化はできないし、する予定もない。背伸びしない、ありのままの姿なところが小笠原のいいところ。知ってほしい。